

全国連盟通信

第32期 No.3
2016年9月15日
発行責任者
石川正三



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

つなごう 支援の輪

スポーツ権の時代の スポーツ連盟

第2回理事会は、第32回全国総会の方針にもとづき、スポーツ連盟の運動と組織を大きくするための方針を検討し具体化を進めました。具体的な課題と方針は各局の提起を参照ください。

私は、各局の方針に基づく日常活動を進める大前提として、今日のスポーツをめぐる大きな変化のなかでスポーツ連盟の役割と課題を明確にすることの重要性を指摘したいと思います。

そのキーワードは、「スポーツ権の時代のスポーツ連盟の活動」です。第32回全国総会決議はスポーツ基本法の意義について、『『いつでも どこでもだれでもが スポーツを』を実現する活動に法的根拠が与えられたことです』と述べています。同時に重要なことは、スポーツ基本法の前文と第二条第一項に、国民のスポーツ権が明記されたことによって、国と地方自治体はもちろん、私たちスポーツ連盟を含め、すべてのスポーツ団体もスポーツ基本法第二条の「基本理念にのっとり」活動し事業展開することが共通の目標になったことです。

特に、第五条の、「スポーツ団体の努力」の項では、「基本理念にのっとり、スポーツをおこなう者の権利利益の保護」がスポーツ団体の大切な目標となっています。この基本理念を私たちの日常活動に生かすことを真剣に考える必要があります。このことはこれまで私たちが進めてきた「スポーツ きみが主人公」の精神を全面的に発揮することに他なりません。

全国ソフトボール協議会が今年の全国スポーツ祭典ソフトボール大会を岐阜県可児市ソフトボール協会との共催で開催することになったこと、新潟県長岡市のバレーボール協会の関係者が来年のスポーツ

連盟全国競技大会の予選会を実質的に主管し開催する見通しになったことが報告されています。

これらはいずれもスポーツ連盟の全国大会や出前大会が選手・チームの方々から「フェアで気持ちの良い大会」として評価されていることが根本にあります。そのうえで、選手やチームのために良いことであれば、所属団体の違いを超えて協力し合って競技会を開催することを当たり前と考える新しいリーダーたちが登場しつつあることを物語っています。スポーツ権の時代のリーダーとスポーツ団体の新たな可能性が広がりつつあることに確信を持ち大いにチャレンジ、当面の第31回全国スポーツ祭典成功につなげましょう。（全国連盟会長 和食昭夫）

▼スポーツ連盟の最近の活動から



- ①あいち反核・平和マラソン&ジョギング
- ②8.9滋賀反核平和マラソン
- ③全国オープン身体障がい者愛知ふれあい卓球大会
- ④西日本スポーツセミナー
- ⑤関東ブロックスポーツセミナー

第2回理事会報告

第32期第2回理事会は、8月27～28日の2日間、西日本と東海のブロックセミナーが日程で重なる中、東京都豊島区の帝京平成大学内集会室・スポーツ連盟事務所に、役員・理事・監事30名の出席で開催されました。今回は、最初にリーダー養成講座第一課「スポーツ・人間・社会」を永井博顧問の講師で受講し、その後に局別会議をして、初日の後半から全体会議を実施しました。

次の第3回理事会(12/10～11)は、全国東京事務所と各ブロックひとつの連盟事務所に集結してスカイプ会議で開催します。以下、第2回理事会内容を抜粋して報告します。

【スポーツ活動・組織局】

・東北/九州復興支援第31回全国スポーツ祭典(3ページ参照)

①共通プログラムはプリントパックに依頼します。種目プログラムとの合本は、データで共通部分を種目組織に渡す方式とします(9/23データ仕上げ、9月末～10月初旬に引渡)。種目責任者の顔写真(カラーで現在のもの)を実行委員会へ送付ください。

②復興支援グッズを予選大会等で販売促進してください。

③賞状、メダルを作成中、各種目にサンプルイメージを送付します。注文数量を早めに連絡してください。

④横断幕は雨でもOKの紙ベースで3枚作成し、各大会で使えるよう回していきます。

・兵庫県で第2回バスケットボール交流大会が開催されました。バスケットやフット・ア・セットなどの新種目にチャレンジをしていきましょう。

・種目組織との懇談会を進めていきます。8月8日に野球協と第1回目の懇談を実施、次はテニス協の予定です。懇談と並行して全国種目組織のスポーツ活動アンケートを行います(9月下旬～11月)。

【スポーツ権・平和運動局】

・2016年反核・平和スポーツのつどい in 広島(4ページ参照)

・各地で反核・平和マラソンが開催されています。福島反核平和マラソンは、福島民医連がピースマラソンとして実施予定です。今後、広島～長崎のあり

方や2020年の福島～東京～広島～長崎1800kmについてプロジェクトを立ち上げ、体制を整え取り組みを開始します。

・2020年東京オリンピック・パラリンピックについては、小池都知事への要請行動を準備中です。スポーツ行政においても、スポーツ基本法を現実にするために具体的な自治体交渉を行っていきます。

【国際活動局】

・仏フット・ア・セット&刷新祭の国際交流(今年5月31日～6月5日)について、代表団の那須誠さん(千葉県連盟)と宮内泰明さん(全国連盟)が報告しました。



理事会でフランス遠征のレポートをする那須さん(中央)

・8月に行われた「2016年韓国記憶と連帯のための平和マラソン」について、代表団の聞間至さん(全国連盟)が報告しました(5ページ参照)。次回は2018年の計画です。

・フランス、韓国の国際交流からの展望と課題として、交流が多様になってきています。FSGTとの交流協定の見直しとマニュアル化が必要です。

【広報局】

・スポーツのひろば普及(6ページ参照)

・連盟リーフレットの改定は、賛助団体の労山やその他分類のソフトテニス等の表記方法を決めて作成します。フェイスブックは反響あるがなかなか進みません。「いいね」を押すことでサポートになります。

【その他】

・スポーツ科学研究所、若手懇談会、総務局、労山との協議などの報告と検討がなされました。

(全国連盟 事務局)

11月から いよいよ開催！ 第31回全国スポーツ祭典（関西）

11月3日の水泳大会を皮切りに、いよいよ東北・九州復興支援第31回全国スポーツ祭典が始まります。共通プログラムは、9月23日にデータができあがるよう、現在制作中です。応援メッセージは、中山竹通さん（マラソンランナー・ソウル五輪&バルセロナ五輪2大会連続4位入賞）、高石ともやさん（フォークシンガー・市民ランナー）、上田藍さん（リオ五輪トライアスロン日本代表）、吉岡大輔さん（トリノ五輪アルペンスキー日本代表）、ちばてつやさん（漫画家）からいただいています。

今回、東北・九州復興支援事業として、グッズ「シリコンバンド」を販売しています（下記参照）。収益はすべて東北・九州で開催される予選大会に負担金に充当します。ぜひ各都道府県のスポーツ祭典やイベント等で参加賞や景品に利用してください。

メダルのサンプルイメージは、ポスター内の鳩のデザインです。各種目で必要な数を連絡してください。よろしく申し上げます。

（第31回全国スポーツ祭典実行委員会 関戸弘充）



第31回全国スポーツ祭典へのメッセージから

初めての42.195キロはホノルルマラソンだった。老人も小学生も、心臓病の人も盲人も、志した人誰もが参加できる人間の尊厳あふれる大会だった。あの頃、40年前…競技マラソン中心の日本に新しい市民マラソンの風を起こしたのが新体連（シントイレ）の大会だった。

“全国スポーツの祭典”も30回を越えたのですね。今年75歳、12月にホノルルを走ります。40回連続出場です。

いい走りは いい人生に通じる

いい人生はいつも平和の中にある

50年目のフォークシンガー 高石ともや

「第31回全国スポーツ祭典」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

いろいろな競技が行われ、それぞれに競い合いながらも、気持ちのいい汗を流すのがスポーツの醍醐味だと思っております。

どうかフェアプレー精神を忘れず、またスポーツができる平和な環境に感謝しながら、仲間との友情の絆を深めてください。

中山竹通

第31回全国スポーツ祭典

復興支援グッズ 「シリコンバンド」

大会・行事の参加賞や記念品などに採用して、祭典アピールと復興支援を呼びかけましょう！

※各組織に1個当たり200円で引渡をします



収益金を全て東北・九州で開催される全国スポーツ祭典並びに予選会の大会費用の一部負担金として充当します。

ご注文・
問い合わせは
こちら

新日本スポーツ連盟大阪府連盟

TEL 06-6942-4751

FAX 06-6942-4753

Eメール office@osaka-sports.net

暑かった「2016 反核平和スポーツのつどい in 広島」



平和の大切さをみんなで共有

「2016反核平和スポーツのつどいin広島」は、8月5日から7日、日本原水爆被害者団体協議会の語り部・松田久美子さんの案内による碑めぐり、反核平和マラソン交流の夕べ、広島城公園の反核マラソン&ウォーキング、広島～長崎500km反核平和マラソンの出発式、似島ピースウォーキング、平和大好き卓球大会と盛りだくさんの企画で行われました。

碑めぐりに19人、交流の夕べに29人、ピースウォーキングに16人、平和大好き卓球大会に174人がこの「反核平和スポーツのつどい」に参加したことになります。

長崎～広島の国民平和大行進に通し行進者として参加した韓国体育市民連帯の若きホープ、キム・ジョ

- ①広島～長崎500km反核平和マラソン出発式
- ②平和行進の報告をするキム・ジョングンさん
- ③交流の夕べで大合唱
- ④被爆者の眠る島・似島を歩く
- ⑤原爆被爆者診療の地で祈りを捧げる
- ⑥語り部・松田久美子さんの案内による碑めぐり
- ⑦爆心地となった島病院、ガイドさんの説明がとても丁寧
- ⑧⑨平和大好きヒロシマ卓球大会
- ⑩8.6早朝に行われたヒロシマ平和マラソン大会

ングンさんも一緒に碑めぐりや交流の夕べに参加していただきました。

来年は、8月5日が土曜日、6日が日曜日です。北は北海道からも、そして今年参加されなかったすべての都道府県からスポーツマンがつどう取り組みにしようと考えています。

(スポーツ権・平和運動局 萩原純一)



2016 記憶と連帯のための平和マラソン



スポーツ連盟代表団 写真左から

団長 間間至さん(全国連盟・東京)
副団長 山本和道さん(全国RC・和歌山)
園生一行さん(全国RC・大阪)
佐藤好行さん(神奈川県連盟)
竹田昭彦さん(平和大行進通し行進者・神奈川)
橋本静修さん(RUNNERS 9の会・埼玉)
山下紀子さん(登山女子ランナーズ・神奈川)
磯部津輝子さん(登山女子ランナーズ・神奈川)

8月17日、韓国・体育市民連帯が主催する「2016 記憶と連帯のための平和マラソン」に、新日本スポーツ連盟代表団8名で参加しました。訪問・交流日程は、8月15～18日までの4日間。今回の交流は、7月に正式な案内が届き、スポーツ連盟・国際活動局が中心となって参加者を募り、7月下旬にメンバーが確定、8月12日に結団式を行いました。現地でのコミュニケーションを大切に、予定の日程をこなして無事に帰国しました。

平和マラソン当日の午前6時、廣州市退村面「ナムの家・歴史館」前で出発式が行われました。ここは、かつて日本軍「慰安婦」制度の被害にあったハルモニ(「おばあちゃん」という意味)たちが共同生活をしている場です。

最初に全員で故人に黙祷。今回の平和マラソンの想いを、体育市民連帯共同代表のユ・テホさん(高麗大教授)が「戦争によって消すことができない犠牲と苦痛を深く胸に刻み、平和の精神に連帯するこの2016平和マラソンを、一緒に駆け抜け成功させましょう」と挨拶。スポーツ連盟の代表団・団長として、私は「反戦・平和の想いは一つです、連帯の平和マラソンを一緒に繋いで走ります」と挨拶しました。

6時20分、50km先のゴール地点、日本大使館前の少女像(ソウル市内)を目指してスタート。第1区間、5人のピースランナーが、2016平和マラソンの旗を持って出発しました。スポーツ連盟からは山本和道さんと山下紀子さんが軽い下りを快適に走り、中継点に。第2区間はアップダウンがあるきつい区間、キム・ドクチンさんと園生一行さんがピッチ良く、快走しています(4分50秒/km!)。

第3区間を橋本さん、第4区間を磯部津輝子さんと私、第5区間を園生さん、第6区間を竹田昭彦さ

んと佐藤好行さんが走り、その後の各区間にもピースランナーが平和のピッチを刻んでいきました。

ソウル市内では、バス停や沿道で手を振って励ましてくれる市民があちこちにて、こちら手も振って応え、元気をもらってピッチも上がります。中間の城南区庁舎前にも少女像があり、小休止、記念撮影も。



最終第11区間は全員で、ソウル市内・ソウル駅前等を駆け抜け、水曜集会(日本軍「慰安婦」問題の解決を求める運動)が行われている「少女像」前に元気にゴール! 集会参加者から盛大な拍手で迎えられました。青年、中・高校生(300人ほど)がグループで多く参加しているのに感動。韓国の未来を感じます。水曜集会では平和マラソンのことが紹介され、ハルモニさんが、日本語で「ごくろうさま」と声をかけてくれました(ビックリ!)。

韓国平和マラソンでは、ランナーは車道を走り、パトロールカーが管轄の警察署から安全警護(最終区間は歩道を走行)。私服の警察官がハンドホーンを持って伴走していました。関係者全員のサポートで、予定通り無事にゴールできました。感謝、感謝、ありがとう! (スポーツ権・平和運動局 間間至)

英知を結集させ 組織拡大につながるヒントを!

先の全国総会において「全ての種目組織と地域組織がクラブとともに生き生きと活動しよう」との方針で活動することが確認されました。現状は減少傾向と厳しい中で各組織が奮闘しています。

この状況を打破し増加に転じるためにはどのような手立てが必要かを探るために、スポーツ活動・組織局では全国種目組織へ、現在の活動状況や今後の展開等を調査するアンケートを実施する事となりました。各組織での都道府県分布や、全国大会に向けての大会の状況、出前大会の状況の確認、明るい兆し等の調査を行い、組織拡大へとつながるヒントを得たいと考えております。

また空白県への新たな組織確立、県連盟立ち上げへと繋げていく良い手がかりをつかめればと思います。9月中旬に全国種目組織へこのアンケートを配信し、12月の次回理事会で集計結果をもとに組織拡大

への議論を深めていきたいと思っております。

また、全国種目組織との定期懇談会をすすめることも併せて行い、種目組織の悩みや課題、全国連盟への要望等を聞く場を設けていきます。8月8日に全国野球協を実施、次は全国テニス協と順次行っていきます。

2年に1度開催される組織拡大交流会議は、2017年に開催されます。来年6月を目安にスポーツ活動・組織局で内容等準備をすすめていきます。

組織拡大は世代継承と併せてどの組織でも喫緊の課題です。スポーツ連盟が大きくなることは、皆さんスポーツする環境もより良く前進することが可能になります。多くの英知を結集しスポーツ連盟を大きく邁進させましょう。

(スポーツ活動・組織局 宮内泰明)

新たな共同の開始＝第1回労山-スポーツ連盟定期協議

2016年6月21日、スポーツ連盟事務所で第1回労山・スポーツ連盟定期協議をおこないました。これは、3月のスポーツ連盟の全国総会において、「労山の賛助団体への移行」について確認されたことをうけ、今後の両組織の共同の進め方や賛助団体移行に伴う「賛助団体会費」の調整をおこなうことを主題としておこなったものです。

▼協議確認事項概要

1、会議の持ち方など

この会議は、双方の全国総会で確認された、「全国労山が『加盟を解消し、賛助団体になる』」こと、これを契機に、両団体の「協力・共同の取り組みを発展させる」ことを具体化するための定期協議の場とする。会議は、原則1年に2回程度行うこととする。

2、賛助団体会費について

スポーツ連盟から「賛助団体会費」について、「労山が賛助団体への移行に伴う種目分担金の減収への対策は、人件費を削らざるをえない」という厳しい財政状況を考慮していただき、労山の予算枠内の最大額で検討をお願いしたいと要請。

これに対し労山から、7月理事会で検討するが、

金額や実施時期については、遅くとも9月には結論を出したいと考えているとの回答があった。その後7月28日の労山理事会で、「賛助団体として確認されたので、今年度の賛助金を支払う。今年度については、昨年の連盟費の半額をめどとする」ことが確認され、8月10日100万円が納入された。

3、今後の協力・共同の推進について

労山とスポーツ連盟の協力・共同については、「労山とスポーツ連盟と一緒にこんなことができますよ」と説明できるような活動を双方で作り出すことが必要であることを確認。当面、国・地方自治体のスポーツ・登山関係予算の拡充を求める共同の取り組み、労山の「クリーンハイク」へのスポーツ連盟からの参加、双方が取り組んでいる国民平和大行進について、各地での連携を強める、などをすすめる。また、組織の強化、役員の養成、組織運営などについても双方で学び合う。特に、11月5日、6日東京でおこなわれる「全国登山者研究集会」の成功にスポーツ連盟としても可能な取り組みを検討する。

▼次回

9月26日、16時から労山事務所でおこなう。

第32期全国会議及び主要事業予定一覧 (2016年10月～2017年3月)

	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織	
10月	3日	スポーツのひろば11月号発行	
	8日		復興支援第19回福島スポーツ祭典卓球大会
	9～10日		労山東日本女性登山交流集会 (富山)
	14日	東北ブロック会議	
	22日	東海ブロック会議	
	22日		石川県連盟50周年記念講演&レセプション
	26日	仏FSGTへ卓球代表団派遣 (11/3まで)	
11月	1日	スポーツのひろば12月号発行	
	3日	全国スポーツ祭典水泳大会 (宮城)	福島：郡山平和マラソン
	4日	スポーツのひろば読者会	
	5日	関東ブロック会議	
	5～6日	東海ブロックセミナー2部 (岐阜)	
	5～6日	全国スポーツ祭典ソフトボール大会 (岐阜)	
	6日	全国スポーツ祭典陸上競技大会 (千葉)	
	9日	全国スポーツ祭典ゴルフ大会 (兵庫)	
	12～13日	全国スポーツ祭典野球大会 (滋賀)	
	12～13日	全国スポーツ祭典バレーボール大会男子 (滋賀)	
			オリパラ都民の会シンポジウム (東京)
	19～20日	全国スポーツ祭典バレーボール大会女子 (大阪)	
	19～20日	全国スポーツ祭典テニス大会 (大阪)	
	19～20日	全国スポーツ祭典バスケットボール大会 (兵庫)	
	26～27日	全国スポーツ祭典シニアサッカー大会 (宮城)	
26～27日	全国スポーツ祭典全国ウォーキングフェスティバル姫路城		
12月	3～4日	全国スポーツ祭典サッカー大会 (兵庫) 全国スポーツ祭典ミックスバレーボール大会 (兵庫)	
	8日	スポーツのひろば1・2月号発行	
	11日		愛知：高蔵寺弾薬庫1周平和マラソン
	10～11日	全国スポーツ祭典バドミントン大会個人 (静岡) 全国スポーツ祭典卓球大会一般 (兵庫)	
	10～11日	32期第3回三役会議・理事会	
	18日		スポーツ科学研究所第1回運営委員会総会 (東京)

【2017年】			
1月	8日～	全国縦断新春マラソン	
	28～29日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別 (石川)	
2月	1日	スポーツのひろば3月号発行	
	11～12日	32期第1回評議員会・第4回理事会	
3月	1日	スポーツのひろば4月号発行	
	4～5日	全国スポーツ祭典スキー競技大会 (戸狩)	
	18日		東京都連盟総会、50周年記念レセプション

※追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。



結成秘話、方針の大転換、名称変更、財政難…スポーツ連盟が多くの人に支えられ、未来に希望をもって50年続けてこられた理由

スポーツは万人の権利

新日本スポーツ連盟50年の歩み

発行／新日本スポーツ連盟 頒価／1,200円 (送料別) A5版 470頁
お問い合わせは新日本スポーツ連盟全国連盟まで TEL 03-3986-5401